

川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

第 4 回 市制 100 周年幹事会

摘録

日時：令和 5 年 6 月 9 日（金）15：00～17：00

場所：Fujitsu Uvance Kawasaki Tower（川崎デルタ）26 階

出席者：幹事長 川崎信用金庫 浅岡部長

副幹事長 富士通株式会社川崎工場 松本シニアマネージャー

幹事 川崎商工会議所 向田課長

株式会社 チッタ エンタテインメント 若井課長

川崎市 PTA 連絡協議会 館会長

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 荻野課長

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 内藤事務局長

日本電気株式会社玉川事業場 中山主幹

味の素株式会社川崎事業所 加藤次長

オブザーバー：味の素株式会社川崎事業所 森氏

事務局：小池事務局長、金井事務局課長、石井事務局課長、石垣事務局課長、藤井事務局課長 他

コアメンバー：味の素株式会社 内山氏

富士通株式会社 池田マネージャー

株式会社ホリプロ 須之部副部長

（敬称略）

1 開会

2 報告

報告第 1 号：実行委員会第 2 回総会の開催結果について

報告第 2 号：フェス&カンファレンスの検討状況について

報告第 3 号：市制 100 周年プロモーション施策について

報告第 4 号：市制 100 周年ロゴの使用について

報告第 5 号：新規参画団体について

—資料 1～5 について説明

○浅岡幹事長

「市制 100 周年プロモーション施策について」に関して、P. 25 に記載のある「川崎の 100 年を学ぶ職員研修」というのは、内容を HP 上などで公開可能なものでしょうか。

○実行委員会事務局係長 宮下

「川崎の 100 年を学ぶ職員研修」については、調整中ではありますが、庁内で実施する

川崎の歴史を振り返る取組をと連携して、市民の方だけでなく職員自身も川崎のこれまでを振り返り、学んでいく研修として実施していきたいと考えています。

○浅岡幹事長

内容としては、座学のようなものなのでしょうか。

○実行委員会事務局係長 宮下

座学に限らず、過去の映像を観たり街歩きをしながら川崎のこれまでを学んだりするものについても、現在検討しています。

○浅岡幹事長

市職員だけでなく市民の方も見て学べるようなコンテンツがあれば、ぜひ、公開できるような視点で作成いただけるといいと思いました。

○実行委員会事務局係長 宮下

いただいた視点を基に、市民の方を対象の取組と連携した実施を検討していきます。

3 議事

●スケジュール及び全体像について

—資料6について説明

○内藤幹事

記念事業期間中の考え方について教えていただきたいのですが、記念式典や緑化フェアなど1年を通して継続的にいろいろなイベントをやっていくというものなのか、もしくは、7月1日の記念日をひとつの山とするような、節目節目でイベントを実施していくものなのか、どちらなのでしょうか。

○実行委員会事務局課長 石井

記念式典、フェス&カンファレンス、緑化フェアといった3つの大きな取組を核として、1年間継続的に実施していくというのが趣旨でして、7月1日の記念式典を主というわけではなく、3つの取組を軸に様々な事業が連携して盛り上げていきたいと考えています。

○内藤幹事

100周年記念事業が1年間こういう形で実施していくんだというのを、もう少し可視化してもらえると、市民の方をより巻き込みやすくなると思いますので、市職員の方が中心となって実施するかとは思いますが、市役所目線ではなく、市民目線で考えていただけたらと思います。

○実行委員会事務局課長 石井

現在、市民、団体、事業者の方に対し、どのようにアピールをしていくかが重要だと考えていまして、こちらの資料は概念図としてお示しはしていますが、各事業がまとまり次第、もう少しわかりやすいよう皆様方にPRしていきたいと考えています。御助言ありがとうございます。

○中山幹事

「先人への感謝」「みんなで100周年を盛り上げる」「未来へつなぐ」の3つのテーマはすごくいいと思います。ぜひ市民の方に理解していただきたいので、これを上手くアピールしていただければと思います。

○浅岡幹事長

スケジュールを具体化して広報するとともに、100周年のイメージを全市民に届くようにしてもらえればと思います。

●議案第1号：実行委員会主催事業の検討状況

—資料7について説明

○館幹事

資料 P.39「リーディングプロジェクトの検討状況」に記載のある4つのプロジェクトについて、この4つ以外にもいくつか候補があったなかで、この4つに決まったのか、最初からこの4つをメインとして検討されたのか、決定したプロセスをお伺いしたいと思います。

○実行委員会事務局係長 岡

いくつかの候補の中から絞り込んだ結果、この4つが現時点で御提示できるプロジェクトとしてお示ししていますが、これがすべてということではなく、今後も事務局にて企画・検討を進めていきます。また、今後、参画団体からの提案についても募集していきますので、これから増えていくという認識でおります。いずれにしましても、実行委員会主催事業とする場合には、本幹事会の承認を経て実施していきますので、皆様に御説明し、御助言をいただきながら進めていきたいと思っています。

○中山幹事

川崎らしさということだと思いますと、スポーツというのは大きなテーマとして入ってくるのかなと思いますが、スポーツをテーマにした取組は、実行委員会だけでなくとも参画団体でも主となって実施できるところがあるので、そちらの方に期待をしてという感じでしょうか。

○実行委員会事務局係長 岡

その側面もごございます。実は、スポーツについてはずっと検討をしておりましたが、同時期に同じような取組を予定していたりと様々な要因がございまして、現時点では皆様に御提示するのに至らなかったのですが、スポーツの取組そのものが無いのですとか、実行委員会

主催事業にスポーツがないという話ではございません。今回のタイミングでご提示できたのがこの4つということでございます。

●議案第2号：実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業の機運醸成について
—資料8について説明

○加藤幹事

機運醸成に関連して、味の素の取組についても御紹介させていただきます。私どもはコロナ禍前は毎年、鈴木町にて地域の方々をお招きして「あじ祭り」というものを開催しておりました。今回、この取組を市制100周年と連携した企画として「Colors, Future! Actions」を掲げさせていただきながら、味の素なりにテーマを掲げまして、今年の11月のフェス&カンファレンスに参加させていただきます。もちろんメイン会場であるラゾーナにも出させていただきますながら、鈴木町と連携した形で盛り上げの一翼を担わせていただきたいと思います。

この取組について、私どももできるだけ発信させていただきますけども、ぜひとも市制100周年公式ウェブサイト等々でも取り上げていただきながら、フェス&カンファレンス番外編、鈴木町編みたいな形で開催させていただければと思っています。以上、御紹介ございました。

○実行委員会事務局職員 坂口

ありがとうございます。参画団体主催事業から掲げていただきたいという思いとして、まず企業がやっただけだと、看板などをよく目にするようになるかと思えます。そして、参加した方はもちろんそうですが、社員の方も、自分の家族に話していただければ、それが1人から4人になって4人から8人になって…、というように広がっていくのかなと思います。あとは何より、「自分がやるんだ」という気持ちを企業の方が持っていただければ、必ずその想いというのは市全体につながるのではないかと考えておりますので、まず参画団体主催事業の創出というのを念頭に置いて機運醸成を図っていきたいと考えておりますので、皆様も御協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

○館幹事

参画団体主催事業についての説明会はいつごろ開催されるのでしょうか。といいますのも、私どもも令和6年度にPTAの全国大会という、5,6千人規模の大きな大会を予定しています。この大会を記念事業の一つとして開催したいなと思っていますので、その説明会に参加させていただいて、参画団体主催事業という形で進めさせていただければと思いますので、そのあたりのスケジュール感を教えていただければと思います。

○実行委員会事務局職員 坂口

正確な日付はまだ決まっていないのですが、早くても9月中旬以降にお知らせをして、10月以降の開催かなと考えています。1回で終わらせるというわけではなく複数回行う予

定ですので、奮って参加していただければと思います。

○中山幹事

参画団体主催事業、パートナー主催事業の登録について一つ確認なのですが、あくまでもこれは本番年である来年度に実施する事業になるのでしょうか。NEC 玉川事業所においても公開空地やホールを使って、SDGsに関するイベントを今年の10月下旬に予定しています。NECだけでなく、かわさきSDGsプラットフォームや社会福祉協議会、日本フィランソロピー協会さん等に集まっていたき、パラ芸術も含めた広いSDGsの発表や啓発などをしたいと考えていますが、今年度実施のものでも登録できるのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

記念事業期間は令和6年4月1日～令和7年3月31日ですが、今年度についてもプレ事業として、記念事業という扱いです。今年は実施するが、来年は実施しないといったものについてはどのように取り扱うかは検討が必要で、詳細な制度設計はこれからですが、来年も実施予定のものについてはぜひ記念事業として登録していただきたいと思います。

○中山幹事

本取組については来年も実施予定ですので、今年についても記念事業として実施したいと思います。

○浅岡幹事長

スケジュールとしては、説明会の前に個別に相談する感じなのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

登録自体は8月29日の総会以降にウェブからとなりますので、そこで登録していただければと思います。

○館幹事

登録に当たって、条件はあるのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

まだ検討中ですが、名前と事業内容を記載いただき、誰がどのような事業を行うのかが分かるような形で登録をしていただく予定です。

○館幹事

登録時に審査のようなものはないのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

要件に当てはまらないものがあると、こちらから確認させていただくこともあるかもしれませんが、そぐわないようなものがなければ積極的に登録していただければと思います。

○浅岡幹事長

具体的にいうと、営利・非営利などは関係するのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

営利・非営利については、先ほどの資料の中にもありましたサンヨー食品のカップ麺については営利ですが、あぁいったものも参画団体主催事業になると考えています。

○浅岡幹事長

ニュータンタン麺に関しては地元を盛り上げるという側面がありますが、例えば入場料を設けて営利目的として実施する場合はどうなのでしょう。

○実行委員会事務局係長 長瀬

その線引きは難しく悩んでおまして、営利といえば営利ですし、協力いただいているといえばそうなのですが、明らかに営利目的で 100 周年をネタにして儲けようというのがあまりにも明らかな場合は NG だと思いますが、サンヨー食品さんのように、100 周年を載せてもらうというのはこちらの PR に協力いただいていると考えておりますので、あまりにも営利目的のみというものでなければ認めていきたいと考えています。

○浅岡幹事長

もう一つ観点として気を付けていただきたいのが、反社会的勢力かどうかで、団体名、氏名は必ず確認していただくことは必要だと思います。

○実行委員会事務局係長 長瀬

反社会的勢力でないかといったネガティブチェックは行っていく予定です。

○実行委員会事務局長 小池

補足ですが、100 周年記念事業に取り組む視点として「未来につながっていくもの」「川崎を好きになっていくもの」「若者たちを対象とした取組」などを示させていただいていますが、みんなで楽しんでいくというのが 100 周年記念事業の趣旨なので、あまりハードルは高くしたくないと思っています。今後、100 周年の冠をつけてチケット販売をするイベントなども出てくると思いますが、それによって市民の方が「川崎ってすごいことやるんだなぁ」「面白いことをやるんだなぁ」ということにつながるのであれば、どんどんやっていただきたいと思っています。皆さんから御意見をいただきながら、考え方を整理していきたいと思いますが、できるだけ皆さんに参加していただけるような、川崎のために皆さんに取り組んでいただけるような機運が高まるよう、発信していきたいと考えています。

○浅岡幹事長

募集要項などに、営利・非営利についての記載はあえてしなくていいと思いますが、あまりにも目に余るようなものがあつた場合の対応については頭の片隅に入れておいていただ

ければと思います。

また、もう一点、ひとりでは実施できなくても、誰かを誘って実施したいといった相談は可能なのでしょうか。

○実行委員会事務局職員 坂口

説明会・交流会にはすべての方が参加できるわけではないですし、別日程に参加した方たちをどのようにつなげるかというもありますので、そういった要望が上がった際は、事務局の方で調整し、しかるべき方々につなげていきたいと考えております。

○浅岡幹事長

参加するだけでなく、創っていく仲間を広げるとというのが非常に大事だと思っています。先ほどの NEC さんからの SDGs パートナーの話もありましたが、川崎信用金庫でもこども食堂の取組をやっています、その第 2 弾を NEC さんの方でやっていただくので、そういったつながりも作っていただければと思います。

●議案第 3 号：協賛金計画の策定（案）

—資料 9 について説明

○加藤幹事

協賛金とスポンサーの考え方についてですが、物品については、イベントごとをお願いされることが多いのかなと思っていて、お金と物品って性質が違っていると感じていますが、そのあたりの整理についてはどうなのでしょう。

○実行委員会事務局係長 荻本

おっしゃるとおり物品については、イベントごとに募集することが多いと思っています。100 周年記念事業として物品協賛を積極的に求めるというよりは、過去の他都市事例をみますと緑化フェア事業で物品協賛を求めているのが多かったのもので、例えば 1 か月間会場にテントや舞台などを設置するといったものをイメージしています。100 周年記念事業については 1 日で終わるものだったりするので協賛で求めるかについては現時点では想定しきれないです。

○加藤幹事

緑化フェアの場合で 1 か月ほど物品を借りているというのはイメージつききました。市主催事業については、100 周年なのでぜひ御協力いただけないかというお話はすでに戴いていたりしているので、それらを 100 周年記念事業に対しての物品協賛だというようにまとめたいただけると、こちらとしてはありがたいなと思います。

○実行委員会事務局係長 荻本

市主催事業にて企業の方々に個別に御協力をお願いしているものについては、検討いた

しまして、追って御説明させていただければと思います。

○中山幹事

例えばイベント等で、社内の施設をお貸しする場合はどうなのでしょう。

○実行委員会事務局係長 荻本

施設については「物品協賛」の中に含めていまして、正確には物品・施設・資材等が含まれます。

○浅岡幹事長

個人の協賛として、クラウドファンディングは必須だと思っています。ふるさと納税については選択肢としてはないのでしょうか。

○実行委員会事務局係長 荻本

ふるさと納税につきましては、今年の4月から「市制100周年」と「緑化フェア」の項目を、川崎市のふるさと納税のメニューに設定させていただいております。ふるさと納税は「税金」のため、実行委員会ではなく「市」で実施させていただいております。

○松本副幹事長

協賛金の種類ですが、金額別にいくつかパターンが分かれています。協賛メリットについても金額ごとに内容が分かれています。

○実行委員会事務局係長 荻本

記載する企業名の大きさに大中小と差を設けることや、500万円以上については、市長表彰も考えております。

○荻野幹事

広報のコンセプトに「知って、関わって、好きになってもらう」というのがありますが、協賛金についてはすでに知っている人や関わっている人が対象になってくるのかなと思います。例えば私の地元では花火大会への募金があり、募金をするとうちわがもらえて、家に帰った後も「このとき募金したんだ」と思い返せるので、いろいろな種類のノベルティを製作されるので、全く知らない人も手にする機会というのもどんどん増やしていった方がいいのかなと思いました。募金についてはどのように考えているのでしょうか。

○実行委員会事務局係長 荻本

募金については、キャッシュレス決済端末を用いて各イベントにて募っていかうと考えていますが、それに対して何をお返しするのは検討中です。実行委員会としてどのようなノベルティを作っていくかを検討していく中で、そのような要素も入れて検討していきたいと思います。

○荻野幹事

オンライン決済やキャッシュレス決済はできる人が限られていると思うので、例えば子どもやお年寄りの方も気軽にできるように現金による募金があってもいいのかなと思いました。赤い羽根共同募金のように、現金を募金した際に、代わりに何かをもらうといったものもいいのかなと思いました。

●議案第4号：市制100周年記念事業ウェブサイトのバージョンアップについて

—資料10について説明

○若井幹事

実行委員会HPをたくさんの人に閲覧していただき、100周年記念事業についてや川崎市のこれまでの歩みについて知ってもらうというのが一番の狙いだと思っているので、HPはとても重要だと感じています。このHPのデザインを見て、「川崎市ってこういう街なんだ」と感じると思うので、スタイリッシュに仕上げてもらえると嬉しいなと思いました。

また、HPを覗いてみたいと思わせるコンテンツを盛り込んでいただけるともっといいのかなと思います。例えば川崎にゆかりのあるタレントの方や、若者に人気のあるミュージシャンの方とか、そういった方のコメントを掲載したり、写真を使わせていただいたりすることによって、川崎ってポップというか、間口が広いというか、それこそSDGsだと感じると思います。まだ堅い印象なので、もっと若い人とか、もちろんお年寄りの方もそうですが、もっと間口の広い見せ方とかエンターテインメントに寄せた見せ方にしてあげるととてもいいのかなと思いました。

それに加えて、「Colors, Future! Actions」を体現しているページにしなければいけないと思うので、外国語の表記とか、そういったことにも配慮しているを見せていくことによって、ページの価値も上がっていくのかなと思いますので、御検討いただければと思います。

○館幹事

100周年に限った話ではないですが、HPは関心がある人しか見に来ないので、積極的にPRしていかないと訪問者が増えていけないと思います。デジタルでもアナログでもいいと思いますが、何か積極的に市民の方や関係者の方などにお知らせする手段はあるのでしょうか。

また、先ほどInstagramの話がありましたが、自分たちのInstagramなども大事なのですが、例えばインフルエンサーたちへのアプローチも重要になってくると思うので、例えば川崎にゆかりのあるYouTuberや芸能人などのインフルエンサーに、「SNSで発信してくれませんか」と、何か協力を依頼してみるのもいいのかなと思いました。

○実行委員会事務局職員 長嶺

現在のHPについて、どういった経路で閲覧されているかを調べてみたところ、検索エンジンで「100周年」と調べて閲覧している人よりかは、他のHP等から入ってきている人が多く、その内訳としては、本市HPから入ってきている人が約半分、市政だよりにQRコード

を掲載しているのだからそこから入ってきている人が25%ほどです。本HPにたどり着いてもらえるよう、いろいろな手法を検討していきたいと思います。

○館幹事

現状の閲覧数はどのくらいなのでしょう。

○実行委員会事務局職員 長嶺

現状の閲覧数は、開設してから前月まで(約6か月間)で2万8千回ほどで、訪問者自体はリピーターを含み8,600人ほどです。

○若井幹事

記念事業の期間内で、訪問者数を例えば10万人まで上げましょうという目標を立てて、そのためにはどのような情報を載せようかという考え方をしないと伸びていかないのではないかと思います。

○実行委員会事務局職員 長嶺

目標値的なものは必要だと思っているので検討はしております、HPの閲覧についての分析を業務委託の仕様に含めていますので、こういったページが閲覧されているのかや、どのような経路から閲覧されているのかなどを分析し、改善させていきたいと考えています。

また、その時々検索されやすいワードなどもあると思います。なかなか「川崎市100周年」と検索する人は多くないと思うので、その時々トレンドのワードを打った時に100周年のHPが表示されるようにできたらいいなと思っています。

○館幹事

せっかく300以上の団体が参画しており、HPを持っている団体も多いと思うので、相互リンクを貼るだけでもかなり効果があるのではないかなと思うので、そういったことはいかがでしょうか。

○実行委員会事務局職員 長嶺

そのあたりもぜひ検討していきたいと思います。

○浅岡幹事長

ちなみに100周年ロゴをHPに貼るときは、リンクとセットになっているのでしょうか。

○実行委員会事務局係長 濱松

リンクを貼っていただいているところもございますが、現状はロゴの画像データとリンクはセットになっていないです。

○浅岡幹事長

うちも100周年の特設ページを作っていますが、なかなか閲覧数が伸びないのですが、フ

ロンターレと SNS でつながっており、そこでつぶやいてもらうと閲覧数が跳ね上がるので、市のネットワークを使っていただいて、影響力のある方とうまく繋がれるといいと思います。

○若井幹事

例えばブレイブサンダースやフロンターレの選手、sumika さんなど、川崎市にゆかりのある有名人へのインタビュー記事を月に 1 回掲載すると、毎月 3 万人とか 5 万人とかがのぞきに来て閲覧数が伸び、その記事以外にも他の内容も閲覧すると思うので、ぜひ検討していただければと思います。

○荻野幹事

川崎市内でインスタ映えするような景色だったり食べ物ってどんなものがあるのかと、私も時々聞かれますが、例えばデカ盛りのお店とか、ドラマのロケ地などを見て「行ってみようかな」とつながるので、そういったものをうまく使えるといいなと思いました。

○実行委員会事務局職員 長嶺

ありがとうございます。「ピックアップ」のところで有名人との対談企画なども面白いと思うので、そういったページをメインビジュアルに載せるなどすると映えるのかなと思いますし、ぜひやっていきたいと思います。

4 その他

●実行委員会第 3 回総会について

●今後のスケジュール

—資料 1 1、1 2 について説明

○浅岡幹事長

全体について、何か質問はありますか。

○向田幹事

私どもの取引先として、工都川崎を支えてきた中小企業の方々が多くいらっしゃいます。本日、事務局の皆様からいろいろな御説明いただいた中で、「これからの 100 年」とか「新しい川崎を生み出していく」といった内容があったんですけども、令和 6 年 4～7 月の期間は「先人への感謝」として、川崎市のこれまでの 100 年を振り返るような事業は式典以外で予定されているのでしょうか。

○実行委員会事務局課長 金井

市主催事業の中でも、これまでの歴史を振り返るものはいくつかございまして、令和 6 年度事業は現在調整しているところですが、今年度のプレ事業においても実施を予定してい

ます。

○実行委員会事務局係長 長瀬

過去を振り返り、学ぶ事業は様々な局で実施予定でして、記念式典の前後だけでなく、年間を通して実施していく予定です。

○向田幹事

中小企業の製造業の方などは、これまで川崎の発展を支えてきたという気持ちをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、今のご時世ですと合っていない業種・業態がある中で、「この先100年」というような壮大な話をされてしまうと少し取り残された感が出てしまうのではないかなと感じています。自分たちも関わろうという気持ちになれるよう、少しは過去の歴史の部分についても取り上げていただけると、私どももPRしやすいかなと思いますので、その辺りもご検討いただければと思います。

○実行委員会事務局係長 長瀬

そういった御意見も踏まえながら検討させていただきます。ありがとうございます。

5 閉会

以上